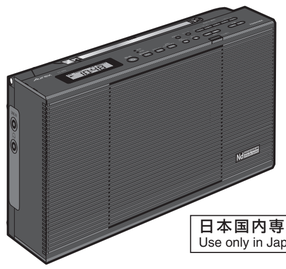
Aurex

東芝 CD ラジオ

取扱説明書

TY-AN2



日本国内専用
Use only in Japan

●このたびは CD ラジオをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
●お読みになった後は、必要なときすぐに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付

● 保証書はこの取扱説明書についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

002

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告　「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。

⚠注意　「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

中の絵と近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。

中の絵と近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

もし異常が起こったら

⚠警告

異常・故障時には、すぐに使用を中止し、電源コードを抜く
（乾電池を使用している場合は乾電池を取り出す）
（異常・故障例）
・煙が出たり、異常なにおいや音がする　・電源が入らない
・音声が出ないことがある　・内部に水や異物が入った
・電源コードが異常に熱い　・電源コードが傷んでいる
・電池が液漏れしている　・本体に変形や破損した部分がある
火災・感電の原因となります。すぐに電源コードを抜き、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。（乾電池を使用している場合は乾電池を取り出す）

電源コード・電源プラグについて

⚠警告

・電源プラグは交流 100V コンセントに根元まで確実に差し込む
・本機の電源スイッチを切っても、内部の電源は完全に切れていないので、万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続する
・電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやホコリがついている場合は、電源プラグを抜きゴミやホコリをとる
・電源コードを取り扱うときは、次のことを守る
・傷つけない　・延長するなど加工しない　・加熱しない　・引っ張らない　・重いものを載せない
・はさまない　・無理に曲げない　・ねじらない　・束ねない
・電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く
コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁止 **・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
火災・感電の原因となります。

⚠注意

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電の原因となります。

電源コードは付属のもの以外を使用しない 付属の電源コードを他の機器に使用しない
火災・感電の原因となります。

ご使用について

⚠警告

・持ち運ぶときは、アンテナをたたみ、電源プラグをコンセントから抜く
・落としたり、強い衝撃を与えて本体が破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
火災・感電・けがの原因となります。

禁止 **・分解・修理・改造はしない**
・CD 挿入部に手を入れない
・異物を入れない
・雷が鳴り出したら、アンテナ・電源コードに触れない
・通気孔をふさがない
・壁に押しつけない（背面 10cm、左右側面 5cm 以上の間隔をあける）
・押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まない　・テーブルクロス・カーテンなどを掛けない
・じゅうたんや布団の上に置かない　・あお向け・横倒し・逆さまにしない
火災・感電・事故の原因となります。

⚠注意

禁止 **・水滴や水しぶきのかかるところに置かない**
・花瓶など液体の入ったものを本機の上に置かない
・本機の上に乗ったり、上に重いものを置いたりしない
・円形ディスク以外は使用しない
・長時間、音が歪んだ状態で使わない
けが・故障・火災などの原因となります。
・CD ピックアップをのぞき込まない
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
・ヘッドホンの音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きい音量で長時間聴き続けると、聴力障害の原因となります。

設置について

⚠警告

禁止 **次のような場所には置いたり、使用しない**
・雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所　・雨、きりなどが直接入り込む場所
・火のそば、暖房機器のそばなどの高温になる場所　・直射日光の当たる場所、炎天下の車内
・ホコリの多い場所　・調理場など油煙や湯気の当たる場所　・振動の強い場所
・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所
・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所　・ぐらつく台上や傾いた所など、不安定な場所
本機の破損・火災・感電の原因となります。
・病院内や医療用電気機器のある場所　・自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
・心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 22cm 以内
本機からの電波の影響で、誤作動による事故の原因となります。

お願い

● 近くに置いたテレビの画面に色ズレを生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

乾電池について

⚠警告

電池が正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一または同タイプのものだけを使用する
火災・感電・けがの原因となります。

⚠注意

乾電池を取り扱うときは、次のことを守る
・指定以外の電池は使用しない　・極性表示を間違えて挿入しない
・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
・乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
・本体から電源コードを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長時間放置しない
・長時間使用しないときは、本体から乾電池を取り出す　・水にぬらしたり、ぬれた手で触れない
・直射日光の当たる場所や火の近くなどの熱源の近くに置かない
発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。
器具についた場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

レーザー規格について

● 本機は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。

CLASS 1 LASER PRODUCT

● 本機の内部にはレーザー放射部があります。分解および改造をしないでください。

免責事項について

● 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
● 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
● 本機はすべての Bluetooth® 対応機器のワイヤレス通信を保証するものではありません。

CD について

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

● 円形ディスク以外は使用しないでください。円形以外の特殊な形状（ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。
● 反射率が低いディスクは情報を読み込めない場合があります。
● コピーコントロール CD や特殊形状など規格外のディスクは再生できません。
● この商品は、CD-DA フォーマット＊オーディオファイルで記録された CD-R/RW ディスクを再生することができます。ただしディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
● 未記録の CD-R/RW ディスクを入れないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとすると、ディスクが傷つくことがあります。
● VCD（ビデオ CD）は再生できません。
● CD や CD-R/RW ディスクはディスクテーブルのキャッチャーにしっかりはめ込んでください。正しくホールドされていない場合、ディスクに傷がついたり故障の原因となります。
● CD や CD-R/RW ディスクがセットされていない場合や読み取りないディスクが入っている場合、「noCd」が表示され、再生できません。
● CD や CD-R/CD-RW に傷、指紋、ホコリがついていると、再生できないことがあります。一部再生できた場合でも音がとんだり、停止することがあります。
● 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
● 個人が楽しむ以外の不正コピーは著作権法上禁止されています。
● CD に紙やシールを貼ったり、曲げたりしないでください。また、CD は必ず専用ケースに入れて保管し、直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かないでください。
● 再生する前に、再生面についたホコリ、ゴミや指紋などを柔らかい布で中央から外側に向かって拭いてください。
● シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。
＊ CD-DA は、Compact Disc Digital Audio の略で、一般オーディオ CD に使用されている音楽収録用の規格です。
● CD 起動時時の「キュルキュル音」や、再生時の「ザッザッ音」/「カツカツ音」などの音が発生する場合がありますが故障ではありません。

Bluetooth® について

Bluetooth®

● Bluetooth® とは電子機器同士をワイヤレス（無線）でつなぐことにより、ケーブルを使わずに接続する技術のことです。本機と Bluetooth® 対応機器をワイヤレス接続し、音声を楽しむことができます。
● 本機は電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は必要ありません。
● ただし、本機に以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
・分解、改造すること　・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
● 日本国内のみで使用してください。各国の電波法に抵触する可能性があります。
● 電波障害について
他のエレクトロニクス機器の近くに設置した場合、正常に動作しない可能性があります。
● 使用制限
・すべての Bluetooth® 対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
・本機と接続する Bluetooth® 対応機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth® 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth® 標準規格に適合していても、Bluetooth® 対応機器の特性と仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
● 使用可能距離について
本機と接続する Bluetooth® 対応機器は、見通しの良い場所で約 10 メートル以内で使用してください。
周囲の環境や建物の構造などによって、使用可能距離が短くなる可能性があります。

据付について

■ 壁に掛ける場合
柱または壁受柱に本体受板をしっかり固定してから、市販の平小ネジ（φ4.0 mm）で取り付けます。

■ 台の上に置く場合
丈夫で水平な安定した台の上に置き、転倒・落下しないように防止して設置きます。

お願い

● 本体受板は、乾電池を入れたときの本体総質量（2.0kg）に十分耐えられる構造にしてください。
● 地震などの揺れに対しても、容易に外れて落下することがないようにしてください。
● 本体背面の通気孔をふさがないように 10cm 以上のすき間をあけてください。

東芝CDラジオ保証書

持込修理品

形名	TY-AN2	
★お客様 お名前	ふりがな　様	
★お客様 ご住所	〒□□□-□□□□	
★お客様 電話	市外　市内　番号　呼	
保証期間 本体	1年	★お買い上げ日　年　月　日から
★ご販売店	住所・店名　電話	

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝エルイートレーディング株式会社
〒212−0014　神奈川県川崎市幸区大宮町1310　ミューザ川崎セントラルタワー

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。
また本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。
1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
（ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
（ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
（ニ）本書のご提示がない場合。
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
（ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝エルイートレーディングサポートセンターへご相談ください。

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝エルイートレーディング株式会社
〒212−0014　神奈川県川崎市幸区大宮町1310　ミューザ川崎セントラルタワー

保証とアフターサービス　必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エルイートレーディングサポートセンター

フリーダイヤル **0120-28-0488**
受付時間：月〜土　9:00〜18:00
日・祝　9:00〜17:00
＊当社指定休業日を除く

FAX
03-3258-0470（通信料：有料）

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

● 保証書は、この取扱説明書に記載されています。
● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
● 保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。

補修用性能部品の保有期間

● CD ラジオの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
● 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

● 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。
● 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理品

本書に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

● 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

■保証期間中は
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話　（　）

長年ご使用の機器の点検をぜひ！

愛情点検

このような症状はありませんか。
● 電源コードが傷んでいる
● 煙がでる
● 変なにおいがする
● その他の異常や故障がある

ご使用中止　故障や事故防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

故障かな？と思ったとき

症状	原因	処置方法
電源・アンプ関係		
操作を受け付けない	● 内部回路が動作していない	→ 電源コードをいったん抜いて再び差し込む
音がでない	● 音量レベルが下がっている ● ヘッドホンが差し込まれている ● 音源切り替えがあっていない	→ 音量レベルを調節する → ヘッドホンをはずす → 音源切り替えを合わせる
CD プレーヤー関係		
音がでない	● CD ピックアップが汚れている ● CD ディスクに傷、汚れ、指紋、油、ホコリがついている。	→ CD ピックアップ部を清掃する → CD ディスクを交換する → CD ディスクの汚れを取り除く
再生が始まらない	● CD ピックアップ部がよごれている ● CD ディスクが裏返しになっている ● CD ディスクがよごれている ● 「CD や CD-R/CD-RW ディスクについて」に記載された CD ディスクではない	→ CD ピックアップ部を清掃する → ラベル面を手前にして入れる → CD ディスクのよごれを取り除く →「CD や CD-R/CD-RW ディスクについて」に記載された CD ディスクと交換する
音がとぶ	● CD ディスクに大きな傷や反りがある ● 振動する場所に設置している	→ CD ディスクを取り替える → 振動のない場所に設置する
ラジオ関係		
雑音が多く聴きづらい	● 電源雑音の影響を受けている ● モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている ● 電波が弱い	→ コンセントへのプラグの差し込みを反転してみる → 本機を雑音源から離す → テレビを消す、またはテレビから離す → アンテナを調節する
Bluetooth®		
音がとぎれる 音が飛ぶ雑音が多い	● Bluetooth® 通信使用可能距離（約 10m）を超えている、もしくは間に障害物があったり、他機器から影響を受けたりしている	→ 機器に近づける、または障害物を避けて使用する
つながらない	● Bluetooth® の対応機器バージョン、プロファイルが違う	→「Bluetooth® 対応機器の音声を聴く」に記載されたバージョン、プロファイルに対応した機器を使用する。

お願い

● 操作中に表示や動作が異常になった場合は、一度［電源］ボタンを押し電源を切ってから電源コードをはずし、しばらくたってから再度電源コードをつないで、再度操作してください。
● 長時間使用していると、キャビネットの一部が多少熱くなることがありますが故障ではありません。

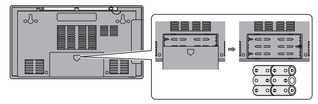
仕様

CD プレーヤー部	
チャンネル数	2 チャンネルステレオ
再生可能ディスク	CD、CD-R/RW(CD-DA フォーマットで記録されたディスク)
ラジオ部	
受信周波数	AM：531kHz 〜 1,710kHz　FM：76.0MHz 〜 108.0MHz
Bluetooth® 部	
バージョン	Ver 4.2　対応プロファイル A2DP、AVRCP
見通し通信距離	約 10m
共通部	
実用最大出力	2.2W + 2.2W（Bluetooth®）、1.7W + 1.7W（CD・ラジオ・LINE）
スピーカー	φ 3.6cm コーン形（4 Ω）× 2
入出力端子	外部入力 (LINE IN)：φ 3.5mm ステレオミニジャック　ヘッドホン出力：φ 3.5mm ステレオミニジャック
電池持続時間（＊）	東芝アルカリ乾電池 単 3 × 6 本使用時　ラジオ受信時：約 16 時間　CD 再生時：約 3 時間
電源	AC 100V、50/60Hz　DC 9V、単 3 形乾電池× 6 本（別売）
消費電力	15W
最大外形寸法	272（幅）× 147（高さ）× 72（奥行）mm（ボタン・ツマミなどの突起物含まず）
質量	約 1.2kg（乾電池含まず）
付属品	電源コード、取扱説明書（保証書付）

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
（＊）印は（社）電子情報技術産業協会の定める「JEITA 規格」による測定値。

乾電池（別売り）でご使用のとき

電池ぶたの矢印部分（OPEN）を押しながら図の矢印の方向にスライドさせてはずし、別売の単 3 形乾電池 6 本を図のように入れ、電池ぶたのフック部分を溝に入れスライドさせて閉めます。



● 極性（⊕と⊖）を間違えないように○側から図のように入れます。
● 電源コードが電源端子 (AC IN 〜) に挿入されているときは、乾電池の電源は切れた状態になります。
● 長期間（1 カ月以上）使用しない場合や電源コードで使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。

乾電池の交換時期は…

乾電池が消耗してくると、音が小さくなったり、歪んだり、液晶表示が暗くなったり、CD が正常に動作しない、などの現象を生じます。交換するときはすべて新しい電池に交換してください。

お願い

● 近くに置いたテレビの画面に色ズレを生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。
● 本機は電源を切った状態でも、わずかですがメモリーを保持するための電流が流れています。そのため、電源コードを抜いた状態で乾電池を入れたまま長時間放置すると乾電池の消耗が進みます。また、液もれの原因となることがあるため、長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してください。
● アルカリ電池を使用してください。アルカリ電池以外を使用しますと著しく寿命が短くなる場合があります。

お手入れのしかた

お手入れのときは、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体のお手入れ

柔らかい布でよごれを軽く拭き取ってください。よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

お願い

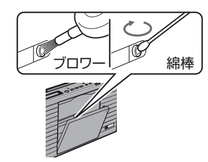
● ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

CD ピックアップ（レンズ）部

CD ピックアップ（レンズ部）を強く押したり、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

CD 装着部のレンズが汚れると、音とびが起きたり、再生ができなくなったりします。

ホコリなどは、市販のブロワーでレンズを 2、3 回ふき、ブラシの先でホコリを掃き出します。指紋などレンズについたよごれは、市販のレンズクリーナーを市販の綿棒につけ、レンズの中心から外に向かって、円を描くように軽く拭いてください。

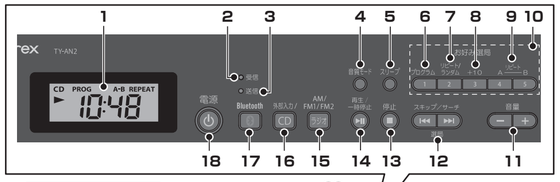


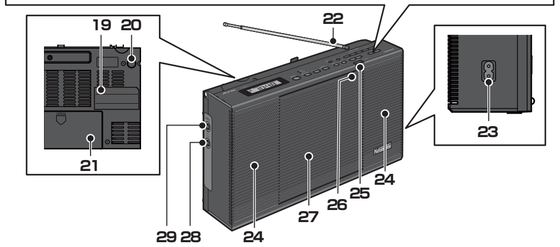
お願い

● レンズを指でふかないでください。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

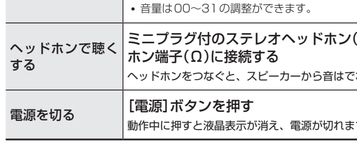
各部のなまえ



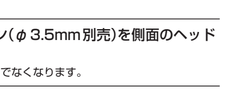


1 液晶表示部
2 Bluetooth®受信ランプ
3 Bluetooth®送信ランプ
4 音質モードボタン
5 スリープボタン
6 プログラムボタン
7 リピート/ランダムボタン
8 +10ボタン
9 A-Bリピートボタン
10 お好み選局ボタン
11 音量ボタン
12 スキップ/サーチボタン
13 停止ボタン
14 再生/一時停止ボタン
15 ラジオ(FM1/FM2/AM))ボタン
16 CD/外部入力ボタン
17 Bluetooth®ボタン
18 電源ボタン
19 定格銘板
20 壁掛け穴
21 電池ボックス
22 FMアンテナ
23 AC IN～端子
24 スピーカー
25 CD開くボタン
26 CDふた閉め部
27 CDふた
28 ヘッドホン端子
29 外部入力端子

液晶表示部



付属品

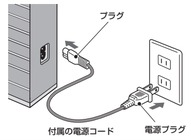


電源について

家庭用電源(AC100V)でご使用のとき

1 電源コードの供給プラグを側面の電源端子(AC IN ～)の奥までしっかり差し込む
- 電源供給プラグが途中までしか入っていないと、プラグが抜けやすくなったり、電源が入らないことがありますので、プラグは必ず奥までしっかり差し込んでください。

2 電源プラグを家庭用電源(AC100V)のコンセントへしっかり差し込む



お知らせ
- 電源コードを長時間使用すると、少し熱を持ちますが故障ではありません。
- 乾電池をご利用の場合は、表面の「乾電池(別売り)でご使用のとき」をご覧ください。

お願い
- 電源コードを抜き差しするときは、[電源] ボタンを押して電源を切った状態にしてください。
- 長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

共通操作について

ボタンの押しかたについて

● **押す**…短く押して放すことです。(2 秒未満)　● **長押しする**…長く押し続けることです。(2 秒以上)

電源を入れる	**[電源]ボタンを押す** 初めて電源を入れると、液晶表示部に"CD"と"–––––"が表示され、"–––––"が点滅します。 • 2回目から最後に使ったモード(CD／FM1／FM2／AM／"LINE")が表示され、動作を開始します。
スリープタイマーを使う	指定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽(CD/LINE/Bluetooth®)やラジオ番組(FM1/FM2/AM)を聴きながらお休みになりたいときなどにご活用ください。 **聴きたい音源を再生(または聴く)し、[スリープ]ボタンを押して設定時間を選ぶ** • [スリープ]ボタンを押すたびに、スリープタイマー(分)が 120→ 90 → 60 → 30 → 15 → OFF…と切り替わります。ご希望の時間を選んでください。 • 設定後、約2秒で元の表示に戻り、スリープタイマー設定中は、液晶表示部のモード(CD／FM1／FM2／AM／LINE／bLUE)表示部分が点滅します。
音量を調節する	**[音量]ボタンを押す** 音量設定が終わると、液晶表示部に設定した音量(数字)が2秒間表示されます。2秒間を経過すると、音量表示は元の表示に戻ります。 • 音量は00～31の調整ができます。
ヘッドホンで聴くする	**ミニプラグ付のステレオヘッドホン(φ3.5mm別売)を側面のヘッドホン端子(Ω)に接続する** ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音はでなくなります。
電源を切る	**[電源]ボタンを押す** 動作中に押すと液晶表示が消え、電源が切れます。

CD を聴く

1 [電源]ボタンを押し、[CD/外部入力]ボタンを押して「CD」に切り替える
"CD"表示後"-- – – –"が約5～10 秒間点滅し"no Cd"が表示されます。
- CD を装着したままにしておいた場合、総曲数を2秒間表示後総演奏時間(TOC)が表示されます。

2 [CD 開く]ボタンを押してCDふたを開け、印刷面を手前にしてCD 装着部にCDをセットする
- CDは正しい向きで入れてください。ラベル面が前面側です。
- CDは軸にしっかりはめ込んでください。

3 CD ドア右上の ⁝⁝ を押してCD ふたを閉める
"-- – – –"が点滅し自動的に CD の読み込みが始まります。
- 読み込みが終了すると、総曲数を2秒間表示後に総演奏時間(TOC)が表示されます。なお、読み込めないCDの場合は"Err"が表示されます。

4 [再生/一時停止]ボタンを押す
▶が表示され、曲番01 から通常再生が始まります。
- 曲番"T01"を 1 秒間表示後、再生経過時間が表示されます。
- 一曲目から最終曲まで順に再生し、曲が終了すると停止します。
- 再生経過時間表示中に[プログラム]ボタンを押すと曲番号を2秒間表示します。
- レジューム動作時では、前回停止した位置から再生されます。

再生中の操作のしかたは、下記の「CD再生中の操作のしかた」を参照してください。

お知らせ
- ディスクを読み込む時の「キュルキュル音」や、再生中の「ザッザッ音」/「カツカツ音」などの音が発生する場合がありますが故障ではありません。

CD再生中の操作のしかた

一時停止する	**再生中に[一時停止]ボタンを押す** CD 再生が一時停止します。▶が点滅します。もう一度[一時停止]ボタンを押すと、CD再生が始まります。
停止する	**再生中に[停止]ボタンを押す** • [停止]ボタンを押すとレジューム動作(次回再生時に同じ位置からの再生)となります。停止させるには[停止]ボタンを2回押します。
前の曲や次の曲を聴く(スキップ)	**再生中・一時停止中・停止中に[スキップ/サーチ]ボタンを押す** • ⏮ ⏭ ボタンを押すと次の曲へ進みます。 • 再生中に ⏮ ボタンを1回押すと曲の頭に戻り、2回押すと前の曲に戻ります。 • ⏮ ボタンを押し続けると早送りになり、⏭ ボタンを押し続けると早戻しになります。
10 曲先の曲を聴く	**再生中または停止中に[+10]ボタンを押す** • 10 トラック先の曲にジャンプします。
音質モードを切り替えて聴く	• [音質モード]ボタンを押すたびに、音質が FLAT⇒ROCK⇒JAZZ⇒CLASSIC⇒FLAT…と切り替わります。 • 液晶表示部に[EQ]と選択した音質モード([FLA]/[rOC]/[JA22]/[CLAS])が表示されます。 • 各モードの音質は次の通りです。 FLAT：原音に近い自然な音質。 ROCK：低音域と高音域を強調した音質。 JAZZ：中音域と高音域をやや強調した音質。 CLASSIC：中音域から高音域にかけて強調した音質。

2 [電源]ボタンを押し、[外部入力/CD]ボタンまたは[ラジオ (FM1/FM2/AM)]ボタンを押して送信したいメディア (CD) または外部入力、放送局 (FM1/FM2/AM) を選び、[再生/一時停止]ボタンを押す、または[スキップ/サーチ]ボタンで周波数を選ぶ
- [ラジオ (FM1/FM2/AM)]ボタンを押すたびに液晶表示部が「FM1 」⇒「FM2」⇒「AM」…と切り替わります。

3 [Bluetooth®]ボタンを長押し、Bluetooth® の送信モードにする
- ペアリングが完了すると、送信ランプが点灯し、対応機器側から音声が流れます。
- 本機は最も近くにあるペアリング可能なBluetooth® 対応機器を探してペアリングを行います。ペアリングできない場合は、本機とBluetooth® 対応機器を近づけてください。
- 再生、停止、音量は本機側で操作してください。機種によっては対応機器側で操作できます。

プログラム再生(プログラムした曲順で再生する)

お好みの曲を 20 曲までプログラム予約できます。

1 CD停止中に[プログラム]ボタンを押す
液晶表示部に"PROG"と"P01"が点滅します。

2 [スキップ/サーチ]ボタンを押し、プログラム予約をしたい曲番を選ぶ
プログラム番号"P01"が点滅中に[スキップ/サーチ]ボタンを押してください。

3 [プログラム]ボタンを押し、決定する
次のプログラム番号"P02"が点滅します。

4 次の曲番をプログラム予約するときは、[スキップ/サーチ]ボタンを押してから[プログラム]ボタンを押し、プログラム予約をする
- 手順1～4の操作を繰り返すことで、最大20曲までプログラム設定できます。
- 20曲を設定すると"FULL"が60秒間表示し設定が終了します。

5 [再生/一時停止]ボタンを押す
プログラム予約した最初の曲番から再生が始まります。
[サーチ]ボタンを押すと次のプログラム番号の曲の再生が始まります。
- [停止]ボタンを押してプログラム設定を終了することもできます。
- プログラム予約した曲番が再生された後停止します。

■ プログラム登録の消去をするには
- 停止中に「他の音源を選ぶ」、「CD ふたを開ける」、または「電源を切る」とプログラム登録の内容が消去されます。

リピート・ランダム再生・A-Bリピート再生

リピート/ランダム再生

■ 1 曲リピート再生(同じ曲を繰り返し再生する)

1 CD停止中、CD再生中や一時停止中に、[スキップ/サーチ]ボタンでリピートしたい曲番を選ぶ

2 CD停止中、CD再生中や一時停止中に、[リピート/ランダム]ボタンを押す
液晶表示部に"REPEAT"が点滅し、選んだ曲のリピート再生が始まります。

3 CD停止中、または一時停止中の場合、[再生/一時停止]ボタンを押す
選んだ曲を繰り返し再生します。

■ 全曲リピート再生(CDに収録されている全曲を繰り返し再生)

1 CD停止中、CD再生中や一時停止中に[リピート/ランダム]ボタンを2回押す
液晶表示部に"REPEAT"が表示され(点滅無し)、現在の曲から全曲リピート再生が始まります。
- [スキップ/サーチ]ボタンを押して選曲すると、選んだ曲から全曲リピート再生ができます。

2 CD停止中、または一時停止中の場合、[再生/一時停止]ボタンを押す
全曲を繰り返し再生します。

■ ランダム再生(順不同で再生する)

1 CD停止中、CD再生中や一時停止中に[リピート/ランダム]ボタンを3回押す
液晶表示部に"RANDOM"が表示され、選んだ曲番からのランダム再生が始まります。

2 CD停止中、または一時停止中の場合、[再生/一時停止]ボタンを押す

■ プログラムリピート再生(プログラムした曲を繰り返し再生する)

1 プログラム再生中または一時停止中に[リピート/ランダム]ボタンを1回または2回押す
"REPEAT "が表示され、プログラムリピート再生が始まります。
- [リピート/ランダム]ボタンを1回押すと、"REPEAT "が点滅し、1曲のリピート再生となります。
- [リピート/ランダム]ボタンを2回押すと、"REPEAT "が表示され(点滅無し)、プログラム全曲のリピート再生となります。

2 一時停止中の場合、[再生/一時停止]ボタンを押す

■ リピート再生／ランダム再生の取消
リピート再生中またはランダム再生中に"REPEAT "または"RANDOM"の表示が消えるまで[リピート/ランダム]ボタンを押す
リピート再生またはランダム再生が解除されます。

A-Bリピート再生

CD モードのとき、再生中に聞きたい部分の始め(A点)と終わり(B点)を指定して、繰り返し再生することができます。

1 再生中にリピート開始位置(A点)で[A-Bリピート]ボタンを押す
- A-Bリピート設定画面が表示されます。

2 リピート終了位置(B点)で[A-Bリピート]ボタンを押す
- リピートするA-B区間が設定され、リピート再生が始まります。

■ A-B リピート再生の取消
A-B リピート再生中に[再生/一時停止]を押す
- A-B リピート再生が解除されます。

ご注意
- トラックをまたいでの再生はできません。

ラジオを聴く ワイドFM

FM1、FM2 放送または AM 放送を受信します。
お好みの放送局を FM1、FM2、AM で各 5 局ずつ、最大 15 局まで登録できます。

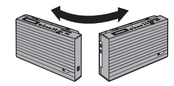
1 [電源]ボタンを押し、[ラジオ (FM1/FM2/AM)]ボタンを押して、希望の受信バンドを選ぶ
押すごとにFM1→FM2→AM の順に切り換わります。
- FM1 を選ぶと液晶表示部に"FM1"を約2秒間表示した後に放送局周波数表示に表示されます。(FM2も同様です)
- FMラジオを聞くときは、FM1 とFM2のどちらを選んでも同じ放送局を聞くことができます。お好み選局ボタンへ放送局を登録するときに使い分けます。

2 [スキップ/サーチ]ボタンを押して放送局を選ぶ
長押ししてボタンから指を離すと、最初に受信した周波数で自動的に停止します(自動受信)。
受信ノイズ(雑音)により停止する場合があります。再度自動受信を行ってください。

よりよい受信をするために

FM放送
FMアンテナを伸ばし、最もよく聴こえる方向にアンテナを向けてください。

AM放送
最もよく聴こえる方向に本体を向けてください。



FMステレオ放送の受信について

- ステレオ放送を受信すると"ST"が表示されます。受信状態が悪化すると自動的にノイズの少ないモノラルに切り換わり、"ST"表示は消えます。
- AM ステレオ放送には対応していません。

放送局(受信周波数)を登録させる(プリセット)

■ 自動で放送局をプリセット(自動プリセット選局)
お好みの放送局をFM1、FM2、AM で各5 局、最大 15 局まで登録できます。

1 [ラジオ (FM1/FM2/AM)]ボタンを押して、希望の受信バンドを選ぶ

2 [停止]ボタンを長押しする
- 自動的に受信サーチを行い、受信可能な放送局をプログラム番号P01 から順にお好み選局へ登録します。

放送局とプログラム番号との関係は次の通りです。
FM1：P01～P05、FM2：P06～P10、AM：P01～05

■ 好みの放送局を選んでプリセット(お好み選局)
お好みの放送局をFM1、FM2、AM で各5 局、最大 15 局まで登録できます。

1 FM1 または FM2 または AM 放送を受信しているときに、[スキップ/サーチ]ボタンを押して登録したい放送局を選ぶ

2 登録させたいお好み選局ボタン(1～5)を長押しする
液晶表示部にプログラム番号"P01"～"P10"が点滅表示され、約 2 秒後に放送局周波数が表示されます。
放送局とお好み選局番号、液晶表示部に表示されるプログラム番号との関係は次の通りです。

放送局	お好み選局ボタン				
	1	2	3	4	5
AM	P01	P02	P03	P04	P05
FM1	P01	P02	P03	P04	P05
FM2	P06	P07	P08	P09	P10

3 続けて登録するときは、手順の 1～2 を繰り返す

プリセットした放送局を選ぶ

■ オートプリセットした放送局を選ぶ
プログラム番号に対応した[ラジオ(FM1/FM2/AM)]ボタンを押す
- FM1：P01～P05、FM2：P06～P10、AM：P01～05

■ お好み選局した放送局を選ぶ
FM1 またはFM2、AM 放送を受信しているときに、お好み選局ボタン(1～5)のいずれかを押す
- ボタンを押すたびに、液晶表示部にプログラム番号"P01"～"P10"が約2秒間表示された後、放送局周波数が表示されます。

外部音声機器を聴く

携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーなどを外部入力端子にφ 3.5mm ステレオミニプラグ付接続コード(別売)で、接続して本機のスピーカーから音声を楽しむことができます。

1 [CD/外部入力]ボタンを押し、外部入力に切り換える
液晶表示部に"LINE"が表示されます。
[CD/外部入力]ボタンを押すごとにCD→LINEの順に切り換わります。

2 外部音声機器の音声出力端子(イヤホン端子、ヘッドホン端子、ライン出力端子)を本機の外部入力端子(LINE IN)へ接続する(接続コードは別売)

3 外部入力端子(LINE IN)に接続した音声機器の音声を再生する
本機のスピーカーから音声が流れます。

4 [音量]ボタンで音量を調節する
外部機器で、音量を調節することもできます。

お知らせ
- 携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーと接続するコードは、φ 3.5mm ステレオミニプラグ付接続コード(別売)を使用してください。

Bluetooth® 対応機器の音声を聴く

お手持ちのBluetooth® 対応機器を接続して本機から音声を聴いたり、本機の音声を聴くことができます。
- 同時に2台以上のBluetooth® 対応機器とは接続できません。再生が終わったらBluetooth® 対応機器の接続を解除してください。

Bluetooth® 対応機器の音声を聴く(受信モード)

お手持ちのスマートフォンやポータブルプレーヤーなどのBluetooth® 対応機器の音声を本機で聴くことができます。

1 対応機器のBluetooth® を有効にする
- Bluetooth® を有効にする操作は、対応機器の取扱説明書をご覧ください。

2 [電源]ボタンを押し、[Bluetooth®]ボタンを押してBluetooth® の受信モードにする
- Bluetooth® 受信ランプが点滅し、液晶表示部に「bLUE」が表示されます。

3 対応機器で「TY-AN2」を選ぶ
- ペアリングが完了すると受信ランプが点灯します。
- 対応機器で「Bluetooth 接続しますか？」などの画面が表示された場合は、「はい」を選択してください。

4 対応機器を再生する
- 本機のスピーカーから音声が流れます。
- 再生、停止などは対応機器側で操作してください。
- 音量は本機側で操作をしてください。機種によっては対応機器側で調整できます。

お知らせ
- 一度ペアリングしたBluetooth® 対応機器と、再度ペアリングする場合は、対応機器のBluetooth® を有効にし、[Bluetooth®]ボタンを押すことで自動的にペアリングされます。もし、ペアリングできない場合は、上記手順にしたがって操作してください。
- 接続が完了したら、対応機器を本機から離してください。
- Bluetooth® 対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示、動作が異なる場合があります。
- 本機でBluetooth® 対応機器の音声を聴くには、Bluetooth® 対応機器が以下に対応している必要があります。
Bluetooth® バージョン
Bluetooth® 標準規格ver4.2
Bluetooth® プロファイル
Advanced Audio Distribution Profile(A2DP)、Audio/Video Remote Control Profile(AVRCP)

Bluetooth® 対応機器から音声を聴く(送信モード)

お手持ちのスピーカーやヘッドフォンなどのBluetooth® 対応機器(以降、対応機器)から本機の音声を聴くことができます。

1 対応機器のBluetooth® を有効にする
- Bluetooth® を有効にする操作は、対応機器の取扱説明書をご覧ください。

東芝エルイートレーディング株式会社
〒212-0014　神奈川県川崎市幸区大宮町1310　ミューザ川崎セントラルタワー